

『劣モジュラ最適化と機械学習』（2015年12月8日第1刷発行）訂正表

ページ	位置	第1刷の記述	訂正
46	式(2.27)の直後	現在知られているほとんどの劣モジュラ最小化に対する	現在知られているほとんどの劣モジュラ最小化に対する
48	下から3行目	劣モジュラ関数最小化(2.15)を利用したのが	劣モジュラ関数最小化(2.15)に利用したのが
55	下から2行目	関数値 $\hat{g}(z)$ は L のとり方に依存せず	関数値 $\hat{g}(z)$ は L のとり方に依存せず
58	式(2.36)	$\sum_{i=1}^n z_{i_j} x_{i_j}^L$	$\sum_{j=1}^n z_{i_j} x_{i_j}^L$
74	アルゴリズム3.2の4行上	アルゴリズム3.2に、ナップサック制約下の劣モジュラ関数最大化のための貪欲法を示します。	アルゴリズム3.2に、ナップサック制約下の劣モジュラ関数最大化のための貪欲法を示します(0.63-近似アルゴリズムは少し複雑になるので、アルゴリズム3.2ではその簡略版を記述しています)。
141	下から3行目	$\sup_{S \subseteq V, S \neq \emptyset} \ s_S\ _r$	$\sup_{S \subseteq V, S \neq \{\}} \ s_S\ _r$

ご迷惑をおかけして申し訳ございません。上記訂正をお願いいたします。書籍の内容およびこの訂正表に関するお問い合わせは(株)講談社サイエンティフィク(03-3235-3701)をお願いいたします。